

2017年3月

新任教員・研究員 各位

研究開発推進機構  
研究支援課

平成29年度科学研究費助成事業 - 科研費 - <研究活動スタート支援>の  
応募について

科学研究費助成事業（以下、「科研費」）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。本学では、研究者の科研費獲得を重点的取組として位置づけており、リサーチ・アドミニストレーターによる調書作成のアドバイスや申請書の点検などの支援体制を整備しております。

今回、ご案内する「研究活動スタート支援」は研究機関に採用されたばかりの研究者や、育児休業等から復帰する研究者等が一人で行う研究種目です。

研究種目概要は下記の通りとなっておりますので、対象となる先生方におかれましては、是非とも積極的にご応募くださいますよう、お願い申し上げます。

記

**「研究活動スタート支援」の概要**

前年秋の科研費募集時期に応募できなかった研究者が一人で行う研究計画であって、その研究活動のスタートを支援することにより、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画に対して助成される事業です。

- ・ 応募総額 : 単年度あたり150万円以下
- ・ 研究期間 : 2年以内
- ・ 応募課題名(案)連絡 : 2017(平成29)年4月12日(水)
- ・ 学内提出期限 : 2017(平成29)年4月19日(水) 17:00厳守

※応募資格の詳細及び応募方法については、次ページ以降をご確認ください。

「研究活動スタート支援」は、交付内定時期の関係上、本年度から研究代表者として研究活動を開始していただける、大変有効な研究種目で、ご着任後、最も早く確保できる研究予算の一つです。また、研究活動スタート支援が採択された場合でも、2017(平成29)年9月公募開始予定の平成30年度科研費（基盤研究・若手研究等）へ応募いただくことが可能です（ただし、双方が採択された場合は一方の課題の辞退が必要となります）。なお、今年度本研究種目の対象者となっている場合は、今回の応募有無にかかわらず、次年度の本研究種目への応募はできませんので、十分ご注意ください。

以上

<調書作成に関する個別相談>

URA 石田 (email) [kishida@mail.doshisha.ac.jp](mailto:kishida@mail.doshisha.ac.jp) (TEL) 0774-65-7891 (内線 7891)

URA 廣瀬 (email) [rs-hm14@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rs-hm14@mail.doshisha.ac.jp) (TEL) 0774-65-6223 (内線 6223)

<申請窓口>

研究支援課 担当：神田・中井 (email) [ji-kaken@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-kaken@mail.doshisha.ac.jp)  
(TEL) 0774-65-7752 (内線 7752)

## (科研費<研究活動スタート支援>の応募資格及び応募方法について)

### 1. 応募資格について

本研究種目に応募する者は、科学研究費助成事業の応募資格(※1)を有するほか、次のA)又はB)のいずれかに該当することが必要です。

A) 文部科学省及び日本学術振興会が平成28年9月に公募を行った研究種目(※2)の応募締切日(平成28年11月7日)の翌日以降に科学研究費助成事業の応募資格を得たため、当該研究種目に応募できなかった者(例えば、平成29年4月1日に研究機関の研究者として新たに採用された者や、外国から帰国し研究機関の研究者として新たに採用された者など)

B) 平成28年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、文部科学省及び日本学術振興会が平成28年9月に公募を行った研究種目(※2)に応募できなかった者

(※1) 本学において科学研究費助成事業の応募資格を有する者は「科学研究費助成事業の応募資格に関するガイドライン」の3. 応募資格の要件を満たす者に限る。

(※2) 平成29年度科研費のうち「新学術領域研究」、「特別推進研究」、「基盤研究」、「挑戦的研究」及び「若手研究」のことをいいます。

なお、B)に該当する場合は、日本学術振興会に産前産後の休暇又は育児休業の期間を報告し、事前に承認を得る必要があります。**2017年4月12日(水)までに、研究支援課宛にメールにて取得されていた休暇・休業の期間をお知らせください。**期日を過ぎますと、B)に該当される場合でも、申請ができませんのでご注意ください。

### 2. 応募方法について

- ① 平成29年度科学研究助成事業(研究活動スタート支援)の公募要領をよくお読みください。公募要領は、日本学術振興会HPからダウンロードしてください。

■日本学術振興会HP

[http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/22\\_startup\\_support/koubo.html](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/22_startup_support/koubo.html)

- ② 応募される方は、以下の期日までに研究支援課にメールにて応募課題名をご連絡ください。(課題名は提出までに変更ができますので、案で結構です)

**応募課題名(案)連絡:2017年4月12日(水)**

メールアドレス: [ji-kaken@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-kaken@mail.doshisha.ac.jp)

- ③ 応募は電子申請になりますが、まずは、申請書の内容部分にあたる「様式S-1-17 応募内容ファイル」を日本学術振興会のHPからダウンロードしていただき、作成してください。
- ④ 電子申請システムにて申請書(研究計画調書)を以下の提出期限までに提出してください。(「5.申請書類について」・「6.電子申請について」参照)  
URAが内容確認後、修正等があれば連絡いたします。

**学内提出期限:2017年4月19日(水)17:00厳守**

※電子申請システムで申請書を送信しても、直接日本学術振興会には送信されません。一旦、所属研究機関(研究支援課)に送信されます。

- ⑤ 不備等がなければ、研究支援課から日本学術振興会へ提出(送信)します。

### 3. 申請書類について

応募に必要な書類は、「研究計画調書」です。「研究計画調書」は、次の2つから構成さ

れます。

前半部分...電子申請システムで応募情報（Web入力項目）を入力します。

※研究課題名・応募額等・応募額等応募研究課題に係る基本データを電子申請システムによりWeb上で入力する部分

後半部分...「応募内容ファイル（様式S-1-17）」（Word）をダウンロードし、研究内容等を記載します。完成した「応募内容ファイル」を、電子申請システムに添付して提出します。

※研究計画調書は「応募情報（Web入力項目）作成・入力要領」及び「研究計画調書作成・記入要領」に基づいて、作成してください。

※研究計画調書はモノクロ印刷で審査されるため、図・表を使用する場合は、印刷した際、内容が不鮮明にならないか確認してください。

#### 4. 電子申請について

##### 【アクセス方法】

応募は「科研費電子申請システム」にて行います。

##### ■科研費電子申請システム

<http://www-shinsei.jstps.go.jp/kaken/index.html>

※操作については、「研究者向け操作手引（簡易版）第3.9版」を参照ください。

##### ■e-Rad ポータルサイト

<http://www.e-rad.go.jp/index.html>

##### ■研究者向け操作手引（簡易版）第3.9版

<http://www-shinsei.jstps.go.jp/kaken/topkakenhi/download-ka.html#tebiki>

##### 【電子申請の手順】

「応募内容ファイル（様式S-1-17）」が完成したら、「科研費電子申請システム」にて応募情報（Web入力項目）を入力し、「応募内容ファイル選択」欄で「応募内容ファイル（様式S-1-17）」を添付してください。不備等がなければ、「応募情報又は研究計画調書確認」画面が表示されますので、確認後、**確認完了・提出ボタン**をクリックし、さらに確認画面の**OKボタン**をクリックして提出してください。このボタンをクリックすると、申請書類は研究機関（研究支援課）に送信されます。

電子申請書類（「研究計画調書」）は、研究支援課で形式チェックを行い、不備等がなければ研究支援課から日本学術振興会へ提出します。

※提出後は応募状況欄が「所属研究機関受付中」になっているかを必ずご確認ください。

※提出後に修正をされる場合、応募状況欄が「所属研究機関受付中」の状態では操作ができません。研究支援課でのデータ返却作業が必要になりますので、電話もしくはメールで連絡いただくようお願いします。（お急ぎの場合は、お電話にてご連絡ください。）

修正後は再度**確認完了・提出ボタン**をクリックして再提出してください。

※タイムアウト等により入力した情報が保存されず、なくなってしまうことがありますので、こまめに**一時保存ボタン**をクリックして保存してください。

※Macで「応募内容ファイル」を作成された場合は、枠等にズレが生じることがあります。WordをPDFに変換し、ズレ等がないか確認したうえで、電子申請システムでPDFを添付してください。

※電子申請システムにて申請書を提出すると、所属研究機関(研究支援課)へデータが送信されます。日本学術振興会へは所属研究機関(研究支援課)から送信しますので、直接、日本学術振興会へ送信されることはありません。